

## ヨーロッパ共同体めぐり

BY Tomiharu Kadono

From 欧羅巴

### 人間の関係性の中に

今、ヘルシンキの中央郵便局前に居ます。まだ外国に来て居ると感じる事が少ない。というのは、日本人と一緒に旅行しているからです。それだけ日本人は多い。だから独り歩いた時に、やっと外国を感じる。やはり人間は、その関係性によりて存在しているのだとつくづく感じています。ヘルシンキのユースは、日本人が多いので、こちらに来る時は、田舎の方にいられる事を勧めます。福祉国家にも、アル中・こじきが多い。この矛盾を……。では又。好き者会きよろしく。(1972.7.5)

### ロンドンに来ています。

へ「コミュニケーションハウス」

予定より二日遅れて無事ロンドンに七月十七日到着しました。十四日に、ベルゲンからニューカッスルに到着。それから Leeds の前から連絡をとってあった *Communal House* に、一日滞在した。ここは、いわゆるヒッピーコミュニティで、住んでいる人数は不明。経済も、どうなっているのか解からない。部屋は、地下の台所、一階二階、屋根裏部屋と、かなり広い。住民は、インド人のサム、彼が料理してくれたり、色々な教えてくれたり、動き回っていた。又、フランスをかなり前に出て、各地を廻っているという、スロニ

ドの長い髪のプロウラ。後、ジェフ(学生らしい)とが数名。ここから十五分位歩いた所に、他のコミュニティナルハウスがあり、そこには、赤ん坊が二人居て、ロックに合わせて遊んでいるという光景が見られた。かかっている音楽は、かなりハードロックなのに。皆、かなりゆったりと情かにタバコ等をふかしている。全員やさしい人達ばかりで、少々無気力の影も。この地域は、*Blissman Street* とか。という名前が示す様に、黒人やインド人の住民が多い。そんなところにあるので、清潔とはいえない。家の中もかなり荒れ



MADE BY THE SWEDS (バグ書)

ていて、仏教の影響がどうか、シヤカラしきま? 絵が壁に貼ってあった。彼らは、又、自然食を食べていて、玄米のカレーとか変わった味の紅茶とか食べさせてくれた。そこで、持っていた梅干を出す。珍らしくられ好評だった。

ロンドンに着いてからは、インド人の W.R.I. 及び S.C.I. の会員であるカンジのパートに居候している。W.R.I. の事務所は、会議前で行かぬ。七月二十日は、*Stafford* で、会議が始まる。ちよ

っと重荷に感じてきた。しかし頑張って日本の事情を話し、こちらの事情を知ろう。このことは、又、使います。やはり、英語で苦労します。こっちの意思が通じず、相手の考えがわからないのは悲しいもんです。(1972.7.19)

### 言語恐怖症なのだ

へ W.R.I. の会議

今、七月十五日午後七時半、会議も全て終わり、夕食も終わり、一息ついたところだ。この四日間、言葉がわからず、ウロウロばかりしていた。全く意志が通じないのは、致命的です。せつかく人間関係が出来かけても、こっちが黙ってしまうとシラけてしまつて、関係の糸は、そこでフツリ。W.R.I. の会議で感じたことは、キリスト教という共通基盤がある様に思った。特に、クエーカー教徒が多いのには驚いた。もちろん、南ベトナムから仏教徒という女性もひとりいたが……。だから、ベ平連の集会比べても、少し雰囲気違う。一・二日は、主にベトナム戦争について。三日目は、北アイルランド問題について。最終日は、各分科会に別れて、討論していた事についてのまとめ。私は、*Training of Non-Violence Committee* に出た。Training と聞いても、集会で、いかに非暴力という事を討論し、徹底させていくかという事だ。結局、非暴力という事は何かは、言葉がわからず理解できなかった。話題にも上らなかつた様なので、日本とだいぶ違うのかも。とにかく、これから何か働きかけ(次頁に続く)

### 編集室情報部

**「月刊キツ」**  
日本キツ協会より発行  
東京都渋谷区代々木4-5-14  
参宮橋ハイソ10号  
※キツ研修生を募集していますよ!  
03-370-2813

**名前のない新聞**  
三鷹市下連雀6-7-37  
工屋荘 秀田気付  
※ワイセツ物かマリファナか  
リス特集等情報(っ)ぱい  
★吉祥寺近くの茶店にもある  
碗まないと換するぞ!

**「魂椒地」**  
ヤマキシステム神戸案内所  
神戸市東灘区御影塚町4-9-13  
078-841-1191  
※★1日曜日例会 他03113  
もうすぐ赤ちゃん誕生です。  
★不要のベビー用品のキャンプを!!

**「キツリ通信」**  
東京都小金井市東町4-39-2  
みゆき荘 永田明夫  
※パン屋裏史  
教師になるものの呻き等

**「ニューバース」**  
山形県私書箱48号 菅原 秀

**「ばあばぶ」**  
アナキズム文献センター  
静岡県富士宮市杉田251  
龍 武一郎気付

**「かひぼう」**  
FIWC東京委員会  
名古屋市昭和区丸屋町432-6  
三浦 気付

あっちこっちで、ミニコミを出してはる人が  
います。頑張れやしょうや。(近藤ちゃん)

**「末の家」**  
大阪で女の子ばかり  
共同生活の場をさが  
がしています。  
3部屋以上台所付  
京阪・片町沿線  
敷50万円2万ぐら  
至急連絡  
好き者会まで

**「焼鳥一杯」**  
大阪市北区堂山町  
106-1  
かどや阪急東通店  
おやじがいい人  
なのである  
東大門の近くだ。

**「ハウスコム」**  
「我が家」  
東京都昭島市  
神町1303, S61  
10と10の共同体  
であるべきなのだ  
1泊2食 250.-  
50.-  
J.T. Tea 30.-



て行かないと、何の反応もない。全く日本と事情が違う。こっちが黙っていたれば、いつまでもそのままでの状態だし。討論する時は、かなり敷くする。しかし、それが終われば後はカバカバしたもので、地下にあるバーで大合唱したり、日本では、こうはいかないのでは。ベトナム・北アイルランド問題で声明を出す時にかなりもめた。変わった所では、ホモセクシャルの中年のおっさんの車に乗った事があった(ただ手が伸びて来ただけ)ので、相当深いのでは...。

七月二十六日の夕方、LeedsのCommunal House に来た。四日間位居て、二十一日位に、ロンドンのカンジのアパートに戻ろうと思ってる。九月上旬か中旬までロンドンか他の所に居て、英語を何とかものにしてワークキャンプに参加しようかとも考えている。言語恐怖症になりそうです。いろいろな日本の情報がほしい。英文のアピールを見せると、ドイツ人のウルフ等は、朝鮮のSun-Brother and Ran について、詳しく教えてくれと頼まれるぐらいだ。

(1972.7.27)

今、ケンブリッジとニューマークットの中間にある Butwell という小さな町の Form Commune に居る。今日で一週間ぐらになる。形としては、非常に興味あるコミュニンのだが、ほとんどのメンバーが外へ働きに出してしまうので、常に居るのは、女性二人と子供二人だけなので、余り聞き出せず、夜になってから同じ年代の奴とやっと話ができる。なぜ外に働きに行くのかと聞くと、金が必要という。前にも書いたけど、ベジタリアンのレストランを経営していて、そこに、パット(だんな)、セラー(嫁さん)、ジュイス(♀)の三人が働いている。このレストランが、コミュニンムースメントの連絡場所にもなっている。Common room には、多くのレコードがあって、ステレオがあり、夕食後には、皆、思い思いに聞いている。エドモンドは、小さな医服用の機械を組み立ててビジネスをしているし、一番若いマイクも、ケンブリッジに電気関係の仕事に行っている。ワリスは、近くの農場に働きに出ている。

もうひとり、マーティンは、ケンブリッジ大学で、学生運動をした人物で、ここに三ヶ月居るとか、毎日起きるのが二時頃で、二時間ぐらひしか働かない。夜になると何やら印刷している。やはり、全員で働かないと、コミュニンの意味がないと思う。コミュニン内の労働は、自主労働なので、一日中眠っていても何も言わないし、こちらが何々したいと言わない限り、何も起らない。このような点は、はっきりしている。とにかく、このコミュニンには、共同体の自立という点に関しては、余り興味があわかない。外へ労働力を売りに行っているのだから。又、レストランの方も、パットの個人資金にかなり頼っているらしい。共有に関しても全部ではなく、大人一人週に二・五ポンド、子供一・五ポンドを、食費その他に払っている。訪問客も多いので、一日五ポンド(約四〇〇円)とる。だから、長く滞在できない。二十六、二十八日に、会議が二回あり、各地のコミュニンから四〇人程集まるそうだ。バイトが見つかるまで居ようと思ふ。(1972.8.19)

彼は9月17日にスエスのC.I.R.A.のメンバーに出、1ヶ月2週間滞在し、その後パリに行き、7月17日にコミュニンに入り、来年(72年)キツリは Grass-Shumale だ。